

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	若狭医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 青池学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	理学療法科 (4年制)	夜・通信	330時間	320時間	
医療専門課程	理学療法科 (3年制)	夜・通信	870時間	240時間	
福祉専門課程	介護福祉科	夜・通信	570時間	160時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>学校関係者評価委員会（年1回）、教育課程編成委員会（年1回）にて公表。 事務所に備え付け、閲覧可能としている。Webにて公表。 URL: https://www.wakasa-iryo.com/disclosure/</p>

3. 要件を満たすことが困難である学科

<p>学科名</p> <p>(困難である理由)</p>

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	若狭医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 青池学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

事務所に備え付け、閲覧可能としている。Webにて公表。
URL: <https://www.wakasa-iryo.com/disclosure/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元小浜市副市長	令和7年 3月31日まで	地域との連携を継続していくための パイプ役
非常勤	元敦賀市企画部長	令和7年 3月31日まで	地域との連携を継続していくための パイプ役
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	若狭医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 青池学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●授業計画書(シラバス)の作成過程 授業概要、到達目標、授業方法、授業テーマと内容、課題内容、成績評価の方法と基準、使用する教科書や参考文献について記載したものを作成。 ●授業計画書(シラバス)の作成時期 各期開始まで(前期:前年度3月、後期:9月)に作成。 講義開始までに授業計画書を作成し、学生に公表。 	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>事務所に備え付け、閲覧可能としている。 Webにて公表。 URL: https://www.wakasa-iryo.com/disclosure/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>試験、レポート、論文の成果を点数(100点満点)に換算し、学則に明記されている基準に基づいて学修成果を評価。 レポート、論文は、①提出期限の厳守、②規定に沿った作成方法、③誤字脱字の有無、④テーマに合った内容、⑤参考・引用文献の活用度合いの5項目について点数化し、評価している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>授業科目ごとに点数（100点満点）評価したうえで、取得した点数の平均を求める方法で成績の分布状況を把握している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>事務所に備え付け、閲覧可能としている。 Webにて公表。 URL: https://www.wakasa-iryo.com/disclosure/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●理事長、校長、学科長または主任で卒業認定会議を開催。 ●学則に明記されている卒業認定基準を満たしていることを確認。 <ul style="list-style-type: none"> ①出席時数の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・当該科目の授業時間の2／3の履修 ・実習については4／5の履修 ②当該科目の学修成果の確認 ③卒業認定試験の成績確認 	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>事務所に備え付け、閲覧可能としている。 Webにて公表。 URL: https://www.wakasa-iryo.com/disclosure/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	若狭医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 青池学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事務所に備え付け、閲覧可能としている。 Webにて公表。 URL: https://www.wakasa-iryo.com/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	事務所に備え付け、閲覧可能としている。 Webにて公表。 URL: https://www.wakasa-iryo.com/disclosure/
財産目録	事務所に備え付け、閲覧可能としている。 Webにて公表。 URL: https://www.wakasa-iryo.com/disclosure/
事業報告書	事務所に備え付け、閲覧可能としている。 Webにて公表。 URL: https://www.wakasa-iryo.com/disclosure/
監事による監査報告（書）	事務所に備え付け、閲覧可能としている。 Webにて公表。 URL: https://www.wakasa-iryo.com/disclosure/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

[理学療法科：4年制]

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	夜	3405時間/単位	2130時間 /単位	30時間/ 単位	810時間/ 単位	0時間/ 単位	435時間/ 単位
	昼		3405時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		8人	0人	6人	17人	23人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 授業は講義・演習・実技・実習がある。ほとんどの科目は前期または後期で設定されている。一部、年間を通して行なわれる通年科目、一定の期間に集中して行われる集中講義科目がある。

成績評価の基準・方法
(概要) 授業時数の3分の2(「臨床実習」については5分の4)以上の出席者に対し、試験を行い又は実習の成果を評価。
卒業・進級の認定基準
(概要) 履修すべき全ての科目の単位を修得した者に対し、進級判定会議の審議を経て進級を認定する。 所定の課程を履修した者について、4年次後期に卒業試験を行い、成績が規定以上の者を卒業と認定する。
学修支援等
(概要) 各学年の担任が学生と保護者と連絡を取り面談を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	12人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院、診療所、訪問看護ステーション、介護老人保健施設、介護老人福祉施設			
(就職指導内容) 2年次より個別面談等で将来に向けて意思を確認、就職年次には志望動機を明確に表現できるよう履歴書の書き方指導、面接指導を行う。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 理学療法士国家資格、福祉住環境コーディネーター3級			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

[理学療法科：3年制]

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3275時間/単位	1835時間/ /単位	100時間/ /単位	980時間/ /単位	0時間/ /単位	360時間/ /単位
			3275時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		24人	0人	6人	17人	23人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業は講義・演習・実技・実習がある。ほとんどの科目は前期または後期で設定されている。一部、年間を通して行なわれる通年科目、一定の期間に集中して行われる集中講義科目がある。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業時数の3分の2（「臨床実習」については5分の4）以上の出席者に対し、試験を行い又は実習の成果を評価。
卒業・進級の認定基準
（概要） 履修すべき全ての科目の単位を修得した者に対し、進級判定会議の審議を経て進級を認定する。 所定の課程を履修した者について、3年次後期に卒業試験を行い、成績が規定以上の者を卒業と認定する。
学修支援等
（概要） 各学年の担任が学生と保護者と連絡を取り面談を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等）			

(就職指導内容)
(主な学修成果 (資格・検定等))
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15 人	5 人	33.3%
(中途退学の主な理由) 経済的に学業を続けることが困難であること。 学力不振、進路の変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期に個人面談を実施、個人カルテを作成し、面談記録を記載のうえ、適切な学生指導を継続的に行う。		

[介護福祉科]

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		福祉専門課程	介護福祉科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2016 時間/単位	725 時間/ 単位	835 時間/ 単位	456 時間/ 単位	0 時間/ 単位	0 時間/ 単位
			2016 時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		20 人	9 人	3 人	12 人	15 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業は講義・演習・実習がある。ほとんどの科目は前期または後期で設定されている。一部、一定の期間に集中して行われる集中講義科目がある。
成績評価の基準・方法
(概要) 授業時数の3分の2 (「介護実習」については5分の4) 以上の出席者に対し、試験を行い又は実習の成果を評価。
卒業・進級の認定基準
(概要) 履修すべき全ての科目を修得した者に対し、進級判定会議の審議を経て進級を認定する。 所定の課程を履修した者について、2年次後期に卒業試験を行い、成績が規定以上の者を卒業と認定する。

学修支援等 (概要) 各学年の担任が学生と保護者と連絡を取り面談を実施している。
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
28人 (0%)	0人 (0%)	27人 (96%)	1人 (4%)
(主な就職、業界等) 介護老人保健施設、介護老人福祉施設、病院、訪問介護事業所、グループホーム			
(就職指導内容) 1年次より個別面談を行い、将来に向けての志望を明確にしており、最終年次には、面接指導も行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 介護福祉士			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30人	2人	7%
(中途退学の主な理由) 学力不振 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期に個別の面談を実施し適切な学生指導を行う。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
理学療法科 (3年制1年次)	250,000円	900,000円	500,000円	その他（実習費、教育・設備充実費）
理学療法科 (3年制2～3年次)	円	900,000円	700,000円	その他（実習費、教育・設備充実費）
理学療法科 (4年制)	円	900,000円	400,000円	その他（実習費、教育・設備充実費）
介護福祉科	100,000円	600,000円	310,000円	その他（実習費、教育・設備充実費）
修学支援（任意記載事項）				
青池睦子特別奨学金制度（理学療法科）；最終学年の学費一部免除				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) URL: https://www.wakasa-iryo.com/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 卒業生、近隣関係者、高校関係者ともに、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、自己点検・自己評価の内容を審議・評価することを通し、その意見を教育活動及び学校運営に活用するとともに広く社会に公表する。これによって自己評価結果の客観性・透明性を高め、専修学校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ることを基本方針とする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
美浜町社会福祉協議会 事務局長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	専門家等
福井県立美方高等学校 校長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	高等学校
株式会社 斎藤経営 所長代理	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	企業等
学校法人 青池学園 評議員	令和4年年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	専門家等
介護老人保健施設 ゆなみ 介護福祉士	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) URL: https://www.wakasa-iryo.com/disclosure/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) URL: https://www.wakasa-iryo.com/disclosure/

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	若狭医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 青池学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		一人	一人	一人
内 訳	第Ⅰ区分	一人	一人	
	第Ⅱ区分	一人	一人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				一人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。